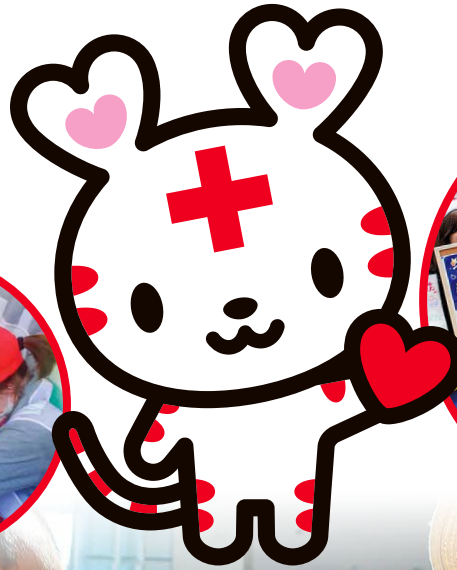


日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

香川県支部

平成30年度

事業報告



人間を救うのは、人間だ。

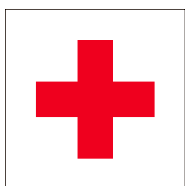
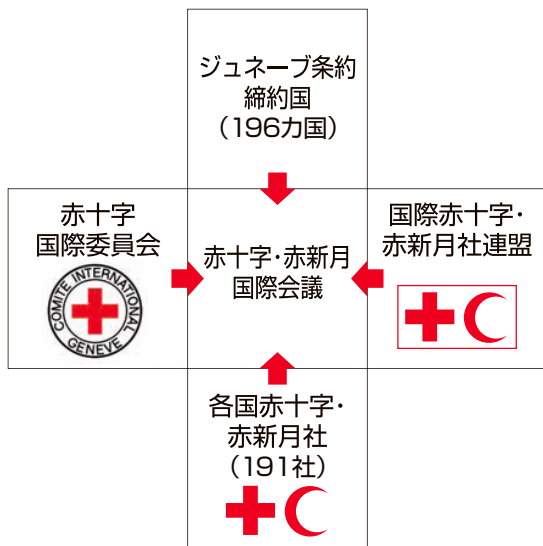
赤十字のはじまり

1859年6月、スイス人アンリー・デュナンは、イタリア統一戦争の激戦の地ソルフェリーノにほど近いカスティリオーネで、戦野に放置されていた傷病兵の悲惨なありさまを目のあたりにしました。そこで、デュナンは、「傷ついた兵士は、もはや兵士ではない、人間である。人間同士として尊い生命を救わなければならない。」との思いを抱き、住民に協力を呼びかけ、敵味方の区別なく救護につとめました。この時の思い出をつづったデュナンの一冊の本「ソルフェリーノの思い出」がきっかけとなって、1863年2月、ジュネーブに赤十字国際委員会が、また1919年5月には平時活動を担当する国際赤十字・赤新月社連盟が創設されました。

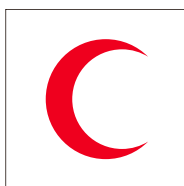
赤十字の標章

赤十字の標章(マーク)は、1863年の国際会議において、赤十字の創始者デュナンの祖国スイスに敬意を表し、スイス国旗の配色を反転させ、「白地に赤十字」と決められています。現在ではイスラム教国の多くは、「白地に赤い三日月(赤新月)」のマークを使っていますが、これも赤十字と全く同じ組織であることを示すマークとして認められています。この標章は、保護の標章として戦時において、軍の衛生部隊に所属する人、建築物、施設、車両及び資材等に付し、これらを攻撃の対象としてはならないと決められています。

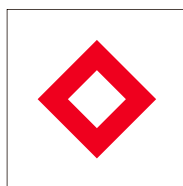
また、表示の標章として、赤十字社の建築物、車両、出版物等に付し、赤十字の目的を達成するために使用されています。これらの標章の使用は、国際法「ジュネーブ条約」さらに国内法(日本の場合は「赤十字の標章及び名称等の使用の制限に関する法律」昭和22年法律第159号)で厳しく制限されています。



赤十字



赤新月



赤いクリスタル(仮称)

国際赤十字・赤新月運動の基本原則

(第20回赤十字国際会議(1965年、ウィーン)決議第8
(改正:第25回赤十字国際会議(1986年、ジュネーブ)決議第31)

第20回赤十字国際会議は、赤十字の活動の基礎である次の基本原則を宣言する。

人道

国際赤十字・赤新月運動(以下、赤十字・赤新月)は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力および堅固な平和を助長する。

公平

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月はただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中立

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時のいずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独立

赤十字・赤新月は独立である。各国の赤十字社、赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉仕

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

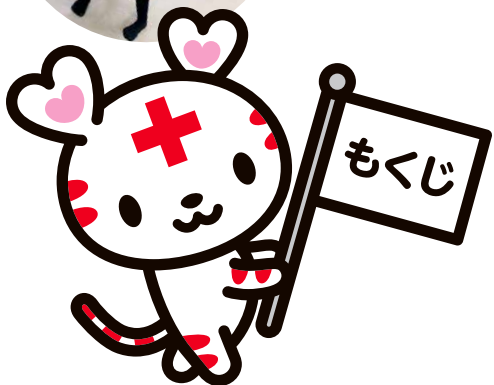
単一

いかなる国にもただ一つの赤十字社あるいは赤新月社しかありえない。赤十字社、赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行なわなければならない。

世界性

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社、赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

CONTENTS



1	全国赤十字大会	1
2	赤十字会員と活動資金の状況	1
3	災害救護	2
4	国際活動	8
5	救急法等の講習	9
6	赤十字奉仕団	14
7	青少年赤十字	18
8	医療事業	22
9	血液事業	24
10	赤十字思想の普及	25
11	香川県赤十字有功会	27
12	評議員会	27
13	決算概要	28

1

全国赤十字大会



大会は、平成30年5月16日（水）東京都渋谷区の明治神宮会館に名誉総裁皇后陛下並びに名誉副総裁各妃殿下ご臨席の下、全国から約1,900人の赤十字会員やボランティアが集い、全国赤十字大会が開催されました。
香川県からは、29名の奉仕団員等の代表者が参会しました。

◎大会次第

●プロローグ

ビデオ上映「赤十字この一年」

●式典

- 有功章ご授与
- 社長表彰
- 厚生労働大臣祝辞
- 実践活動の報告

「傷つき失われる命、あらゆる状況下で生きる人々とともに
～フローレンス・ナイチンゲール記章受章のかげに～」

（伊藤 明子／名古屋第二赤十字病院 副院長 兼 看護部長）

「地域防災を担うレスキュー部」

（小林 正英／東京都荒川区立南千住第二中学校 青少年赤十字メンバー）



2

赤十字会員と活動資金の状況



「会員」とは赤十字の活動や理念にご賛同いただき、赤十字の活動資金を納入される方のことです。
「日本赤十字社は、会員をもって組織する」のとおり、赤十字の活動は多くの会員によって支えられています。
平成30年度においても、「人間を救うのは、人間だ。」を赤十字運動標語として掲げ、5月の「赤十字会員増強運動月間」を中心に地区・分区及び赤十字奉仕団等との円滑な協力関係のもと、県内一円で会員増強運動を展開しました。

◎会員の状況

年度	会員数		
	個人（人）	法人（社）	合計会員数
平成26年度	93,707	2,659	96,366
平成27年度	92,092	2,562	94,654
平成28年度	83,453	2,623	86,076
平成29年度	83,446	2,661	86,107
平成30年度	※ 59,930	2,899	62,829

※平成30年度から規則変更により集計方法を変更しています。

◎活動資金の実績状況

年度	実績額（円）			目標額（円）
	個人	法人	合計額	
平成26年度	154,098,763	17,283,645	171,382,408	146,000,000
平成27年度	174,926,631	16,267,988	191,194,619	146,000,000
平成28年度	126,529,549	30,188,592	156,718,141	146,000,000
平成29年度	138,899,983	17,380,450	156,280,433	146,000,000
平成30年度	163,801,465	22,141,835	185,943,300	146,000,000

3 災害救護



災害にあった人々の救護は、日本赤十字社本来の使命に基づいた最も重要な事業の一つです。

昭和22年制定の災害救助法により、日本赤十字社は災害に際して救助の協力を義務づけられ、さらに昭和36年制定の災害対策基本法では日本赤十字社を指定公共機関として指定し、災害救護に対する準備体制を確保しておくよう定められています。

当支部では、これらの法律に基づく規則や計画に従い、常備救護班を編成し、有事即応の体制を整えるほか、救護員訓練などにより、医療救護活動の実施に万全を期するとともに、赤十字奉仕団、防災ボランティアの協力のもと、幅広い救護活動の展開が可能となるように努めました。

▶ 救護班

常備救護班として8個班を、県内赤十字施設（高松赤十字病院・香川県赤十字血液センター）との連携のもとに編成しており、災害の規模に応じて必要な救護班を派遣できるようにしています。この救護班の編成基準と要員確保状況は、次のとおりです。

◎救護班の編成（1班6人編成 8個班）

(単位/人)

区分	職種	医師(班長)	看護師長	看護師	主事	合計
1個班の編成基準		1	1	2	2	6
常備要員数		8	8	16	16	48

※必要に応じて、薬剤師・助産師・特殊要員を加えます。また、血液供給要員3人、災害対策本部支援員2人を任命しています。

◎dERUチームの編成（1チーム14人編成 4チーム）

(単位/人)

区分	職種	医師	看護師長	看護師	薬剤師	助産師	主事	合計
1チームの編成基準		2	2	4	1	1	4	14
常備要員数		8	8	16	4	4	16	56

※医師のうち1名がチームリーダー、主事のうち1名がサブリーダーとなります。

◎災害救護活動

①鳥根県西部地震に伴う対応

- マグニチュード6.1 最大震度5強
- 平成30年4月9日(月) 1:32
- 自宅待機・連絡調整

②大阪府北部地震に伴う対応

- マグニチュード5.9 最大震度6弱
- 平成30年6月18日(月) 7:58
- dERU救護班待機・情報収集

③「平成30年7月豪雨」災害に対する対応

6月28日から7月8日にかけて、台風7号と梅雨前線の影響で西日本を中心に豪雨が発生し、気象庁は、「平成30年7月豪雨」と名付けました。この豪雨で河川の氾濫による洪水、陸地内での増水による浸水、地すべりや崖崩れなど、各地に甚大な被害がもたらされました。この災害の被害状況は、死者・行方不明者245人、建物被害52,999棟、ピーク時の避難者約23,000人という膨大な数字です。

日本赤十字社においては、発災直後から、本社・各支部が総力をあげて被災者の救護に全力を尽くしました。



- 先遣隊・岡山県支部災害対策本部支援
 - 救護班員／2人（主事1人、防災ボランティア1人）
 - 派遣日時／7月8日（日）～7月12日（木）
 - 活動場所／日本赤十字社岡山県支部、倉敷市保健所にて本部支援

- dERUチーム第1班
 - 救護班員／13人（医師2人、看護師長2人、看護師4人、薬剤師1人、主事4人）
 - 派遣日時／7月9日（月）～7月12日（木）
 - 活動場所／倉敷市立二万小学校、倉敷市立第二福田小学校、倉敷市立菌小学校、倉敷市立岡田小学校（アセスメント、避難所診療）
 - 患者数／47人

- 救援物資の配送
 - 7月11日（水） 日本赤十字社岡山県支部に緊急セット204個、毛布300枚

- 救護班第2班
 - 救護班員／8人（医師2人、看護師長1人、看護師2人、薬剤師1人、主事2人）
 - 派遣日時／7月18日（水）～7月21日（土）
 - 活動場所／倉敷市立菌小学校（避難所診療）
 - 患者数／42人

- こころのケアチーム（香川、兵庫、奈良合同）
 - 救護班員／2人（看護師1人、主事1人）
 - 派遣日時／7月18日（水）～7月21日（土）
 - 活動場所／総社市役所、昭和公民館、倉敷市立岡田小学校、倉敷市立菌小学校、倉敷市立二万小学校、まび記念病院
 - 関わった人数／28人



- 広島県支部災害対策本部支援
 - 救護班員／1人（主事1人）
 - 派遣日時／7月22日（日）～7月26日（木）
 - 活動場所／日本赤十字社広島県支部にて

- 災害医療コーディネーターチーム
 - 救護班員／3人（コーディネーター：医師1人
コーディネータースタッフ：看護師長1人、主事1人）
 - 派遣日時／7月30日（月）～8月4日（土）
 - 活動場所／日本赤十字社広島県支部、広島県庁災害対策本部、広島県医師会 他



※県内においては、人的被害はありませんでしたが、7月7日（土）にまんのう町に緊急セット6個、安眠セット36個を配送しました。

④台風12号の接近に伴う対応

- 平成30年7月29日（日）
- 支部職員待機・情報収集

⑤台風20号の接近に伴う対応

- 平成30年8月23日（木）～8月24日（金）
- 支部職員待機・情報収集
- 救援物資の配送（直島町） 毛布200枚、安眠セット30個、ブルーシート30枚



⑥台風21号の接近に伴う対応

- 平成30年9月4日（火）
- 支部職員待機・情報収集

⑦平成30年北海道胆振東部地震に伴う対応

- マグニチュード6.7 最大震度7
- 平成30年9月6日（木） 3：08
- 情報収集



⑧北海道胆振地方中東部を震源とする地震に伴う対応

- マグニチュード5.7 最大震度6弱
- 平成31年2月21日（木） 21：22
- 情報収集

▶ 災害義援金の取扱状況

国内の災害に対する義援金が当支部に次のとおり寄せられました。

東日本大震災義援金	(55件)	559,869円
平成28年熊本地震災害義援金	(33件)	385,248円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	(8件)	270,118円
平成30年大阪府北部地震災害義援金	(22件)	1,623,686円
平成30年米原市竜巻災害義援金	(4件)	75,917円
平成30年7月豪雨災害義援金	(381件)	41,881,240円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	(54件)	1,859,571円

（合計） (557件) 46,655,649円

※東日本大震災義援金当初からの累計 (14,383件) 1,644,638,622円

※熊本地震災害義援金当初からの累計 (945件) 109,968,855円



▶ 災害等による被災者の援護

公益財団法人JKAなどの、日本自転車振興会の補助金により整備した毛布、緊急セット及び安眠セットを支部倉庫に備蓄するとともに、地域の実情を踏まえて各地区・分区にも分置しています。その他、支部独自で毛布、バスタオル、ブルーシートなど救援物資の効果的な備蓄に努めました。また、赤十字応急援護として火災等の被災者の方々に対して、見舞金や弔慰金を贈っています。

◎災害救援物資の備蓄状況（平成31年3月31日現在）

品名	地区別 29年度 繰越数	本年度増減数				30年度末 備蓄数	備蓄場所	
		本社から受入	他県へ管理換	県内へ配布	転用		支部	地区等
毛 布(枚)	4,621	300	300	187	1	4,433	3,700	733
緊急セット(個)	1,126	210	204	47	—	1,085	984	101
安眠セット(個)	1,321	36	—	25	—	1,332	1,254	78
バスタオル(枚)	822	—	—	—	—	822	650	172
ブルーシート(枚)	593	—	—	—	—	593	540	53
タオルケット(枚)	1,300	—	—	—	—	1,300	1,300	—



◎火災等の被災者と避難所への避難者に対し、次のとおり救援物資を贈りました。

品名	地区別											計
	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	
毛 布(枚)	38	16	7	3	14	2	101	0	0	0	6	187
緊急セット(個)	22	7	2	1	9	1	2	0	0	0	3	47
安眠セット(個)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	25



◎火災等の被災世帯と死亡者に対し、次のとおり見舞金等を贈りました。(単位/千円)

品名	地区別											計
	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	
災害	見舞金	460	100	80	40	180	20	90	40	0	20	1,150
	弔慰金	180	0	20	20	20	0	0	0	0	20	260
中国帰国者見舞金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	640	100	100	60	200	20	90	40	0	20	140	1,410



▶ 救護員の養成



行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
救護員任命式	4月10日(火)	赤十字救護員	61	高松赤十字病院	
任命救護員研修会	4月10日(火)	赤十字救護員	43	高松赤十字病院	国内型緊急対応ユニット(dERU)の概要について
支部・施設合同救護員主事対象研修会	5月18日(金)	赤十字救護員(主事・ロジスティクス)	9	香川県青年センター	災害時の主事の役割、情報収集クローンロジ、業務用無線・衛星携帯電話・救護資機材の操作訓練、dERU(国内型緊急対応ユニット)の設営、緊急車両・中型車両の操作
こころのケア研修	7月19日(木)	赤十字救護員	23	高松赤十字病院	講義(日本赤十字社のごころのケア、災害時のストレスとストレス反応、被災者のケア、救護員のケア)、グループワーク、ロールプレイ
NBC災害研修	9月13日(木)	赤十字救護員	12	高松赤十字病院	NBC災害概論、資機材取扱い、防護服着脱、シミュレーション
支部・施設合同赤十字救護員基礎研修会第1回	9月22日(土)	赤十字救護員(任命予定者)	44	高松赤十字病院	(座学)赤十字の災害救護内容・法的根拠、災害医療概論、救護業務で活用するシステムや診療録、救護所設営机上演習
支部・施設合同赤十字救護員基礎研修会第2回	10月14日(日)	赤十字救護員(任命予定者)	42	香川県青年センター	基礎行動、救護資機材取扱(担架・簡易ベッド・発電機・医療資機材)、救護所設営(エアテント・パイプテント)、救護シミュレーション(救護所診療、避難所巡回診療、避難所アセスメント)

◎国内型緊急対応ユニットdERU（大規模災害等が発生した時に迅速に被災地域に搬入できる自己完結型の緊急仮設診療所）操作研修の実施

行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
救護員実践研修会	6月19日(火)	赤十字救護員	39	香川県青年センター	dERUの運用、学科研修・実技研修の留意事項、グループワーク、dERUの展開実習等、救護資機材操作、現場救護所シミュレーション



▶ 日本赤十字社中国・四国各県支部合同研修会への参加

行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
平成30年度日本赤十字社中国・四国ブロック災害対策本部要員研修会	2月21日(木)~22日(金)	赤十字救護員	4	山口県	災害対策本部の役割、災害救護リソース、通信の確保、災害対策本部の機能と役割、本部の運営、災害時の記録、無線・衛星携帯電話操作、総合シミュレーション

▶ 他機関の防災訓練等への参加



行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
内閣府大規模地震時医療活動訓練	8月4日(土)	赤十字救護員	10	●中四国各県 ●香川県内全域 ●香川県立中央病院	香川県立中央病院診療支援、病院前救護所開設、通信訓練
		リエゾン	2		
		防災ボランティア	9		
香川県総合防災訓練	10月28日(日)	観音寺市赤十字奉仕団	30	●琴弾公園	救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送、無線交信、医薬品搬送、dERUの展開、非常食の炊き出し
		防災ボランティア	53		
		赤十字救護員	12		
香川県石油コンビナート総合防災訓練	11月13日(火)	赤十字救護員	11	●川崎重工業株式会社坂出工場	救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送、無線交信
香川県国民保護実動訓練	2月5日(火)	まんのう町赤十字奉仕団	20	●国営讃岐まんのう公園	避難訓練
		赤十字まんのう町分区分職員他	2		



▶ 赤十字ボランティアの養成

訓練・研修等に参加して災害救護活動のノウハウを習得し災害時等に日本赤十字社が行う活動（情報収集、炊き出し、救援物資の輸送・配布など）に参加しました。

◎香川県赤十字防災ボランティア活動状況

①登録人員（団体） 195人（個人登録）、4団体（団体登録）

②防災ボランティア実践研修会

- 日 時／平成30年6月10日（日） 10：00～15：00
- 場 所／香川県青年センター
- 参加者／赤十字防災ボランティア等 31人
- 研修内容／無線の基礎、クロノロ体験、非常食作り、救護テント等資機材操作、担架操法、ロープワーク

③防災ボランティア基礎研修会

- 日 時／平成31年1月26日（土） 10：00～15：00
- 場 所／日本赤十字社香川県支部 ボランティア室
- 参加者／赤十字防災ボランティア等 44人
- 研修内容／赤十字の理念、赤十字防災ボランティア活動のガイドライン
平成30年7月豪雨災害活動報告、災害救護装備・支部倉庫見学
非常食の炊き出し、災害時に役立つ応急手当



▶ 臨時救護



第19回香川県障害者スポーツ大会等5か所に救護員等延べ15人を派遣し、負傷者15人の手当てをしました。

- 第47回幼稚園まつり
- 津田の松原 海水浴場
- 第19回香川県障害者スポーツ大会
- 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター
- 中国・四国地区ろうあ者体育大会



▶ 「防災とボランティアのつどい」～親子で学ぼう防災、広げよう減災～

未曾有の被害をもたらした平成30年7月豪雨災害や東日本大震災、熊本地震の災害。そして、ボランティア元年となった、阪神・淡路大震災の記憶を風化させぬよう、県民の防災・減災意識の向上を目的に親子世代をターゲットとして開催しました。

防災ボランティア活動事例のパネル展示や災害への備えを身近に感じられるような体験型ブースや親子で学べる防災講座を通して、防災・減災を考える機会としました。

- 日 時／平成31年3月10日（日） 10：00～16：00
- 場 所／さぬきこどもの国
- 内 容／
 - ・活動パネル展示……防災関連団体の活動をわかりやすく展示
 - ・学べる体験ブース……参加団体が防災をテーマにした楽しい体験コーナー
 - ・親子で防災講座……親子で学べる参加自由形の防災学習
- 参加者／
 - ・赤十字ボランティア等 20人
 - ・一般来場者 約1,000人





日本赤十字社は、世界191の国と地域の赤十字・赤新月社と連携して、世界各地において民族や宗教の対立等により発生する人道的な危機や、地震・洪水等の自然災害による難民、国内避難民等に対する「国際救援」を行います。また、災害や保健衛生上の脅威にさらされる開発途上の赤十字社が実施するプログラムへの支援を行う「開発協力」を中心に、要員の派遣や資金、物資の援助を進めています。

これら本社が行う国際活動に呼応して、次のとおり活動を行いました。

▶ 国際救援

◎ 国際救援金の取扱状況

「NHK海外たすけあい」募金	(369件)	3,492,867円
中東人道危機救援金	(2件)	5,026円
バングラデシュ南部避難民救援金	(1件)	2,000円
2018年インドネシア・ロンボク島地震救援金	(1件)	17,020円

(合計) (373件) 3,516,913円



▶ 開発協力

◎ 「海外たすけあい」キャンペーンの実施

海外で発生した災害や紛争による被災者等を支援するとともに開発途上国の開発協力を行うために、日本赤十字社とNHKが共催し、1983年に第1回のキャンペーンを実施して以来、毎年12月にNHKの放送を通じて広く募金を呼びかけています。

香川県支部では、平成30年12月1日(土)に、高松駅前、高松丸亀町壱番街前ドーム広場の高松市内2カ所において、青少年赤十字メンバー、高松市赤十字奉仕団員等で街頭募金を行いました。

12月3日(月)にはNHK高松放送局にてオープニングセレモニーを行いました。

● オープニングセレモニー

【青少年赤十字加盟校】 ・高松市立一宮幼稚園

● 街頭募金参加団体

【青少年赤十字加盟校】

- ・高松市下笠居こども園
- ・高松市立高松第一小学校
- ・高松市立下笠居小学校
- ・高松市立桜町中学校
- ・高松市立高松第一中学校
- ・高松市立勝賀中学校

【赤十字奉仕団】

- ・高松市赤十字奉仕団
- ・香川県青年赤十字奉仕団
- ・香川短期大学学生赤十字奉仕団
- ・四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
- ・高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団

【その他】

- ・久光製薬株式会社高松支店



◎ 「アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット支援事業」

国際赤十字・赤新月社連盟は、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開できるように、「給水・衛生災害対応キット」を開発し、頻りに災害に見舞われる国や地域に予めこれらの資機材を備蓄するとともに、現地赤十字社のスタッフやボランティアが使用できるよう研修を行っています。

香川県支部は中国・四国各県の支部と共同で資金提供し、この事業に参加しています。

「アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット支援事業」資金の拠出
(中国・四国各県支部共同事業 拠出総額) 685,196円
7,000,000円



小型給水装置の設置をするバングラデシュ
赤新月社のスタッフとボランティア ©BDRCS



5

救急法等の講習



赤十字は、人間の苦痛を予防軽減し、生命と健康を守り、人間の尊厳を確保するという赤十字の理念に基づいて、広く一般の方々を対象とした救急法等の講習会を実施しています。
当支部では平成30年度に、次のとおり各地域で講習会を実施しました。

▶ 救急法

思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人を正しく手当てし、医師や救急隊員に引き継ぐまでの応急手当として、「心肺蘇生・AED」「止血」「骨折の手当」「傷病者の搬送」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

◎救急員養成講習

対象・主催等	受講者数	養成者数
穴吹医療大学校 看護学科2年生、歯科衛生学科3年生	90	88
穴吹パティシエ福祉カレッジ 介護福祉学科、国際エステティック学科	22	15
香川看護専門学校 第1・2看護学科2年生	79	79
香川県警察学校 初任科第88期長期生	26	26
香川県警察学校 初任科第88期短期生	30	30
香川県立香川中央高等学校 スポーツ科学コース2・3年生	79	79
香川県立高松南高等学校 福祉科1・2年生	58	54
香川県立飯山高等学校 看護科3年生	36	35
香川短期大学 生活介護福祉専攻、食物栄養専攻	35	30
四国医療専門学校 スポーツ医療学科学生 他	8	8
四国学院大学専門学校 学生	23	11
四国こどもとおとなの医療センター附属善通寺看護学校2年生	77	77
尽誠学園高等学校 衛生看護科2年生	22	21
藤井学園寒川高等学校 看護専攻科1・2年生	57	56
支部主催教室（土日）（2回）	91	85
支部主催教室（平日）	31	31
高松赤十字病院	23	23
計 18 回	787	748



◎基礎講習

対象・主催等	受講者数	修了者数
英明高等学校	32	31
香川県サッカー協会	23	23
香川県歯科医師会	62	62
四国学院大学サッカー部	31	31
True Japan Tour 株式会社	85	85
その他（22回、救急法救急員養成講習会等を含む）	853	852
計 27 回	1,086	1,084

◎資格継続研修

対象・主催等	受講者数	修了者数
支部主催教室（2回）	47	47
計 2 回	47	47

◎短期講習

対象・主催等	受講者数
阿部内科眼科医院	17
綾川町立綾上小学校	18
綾川町立昭和小学校	25
綾川町陶なかよし学級	30
一ノ谷スポーツクラブ	25
一般社団法人 香川県医薬品登録販売者協会	40
宇多津町社会福祉協議会	200
宇多津町防災訓練（8回）	640
宇多津町立宇多津中学校（2回）	87
英明高等学校（3回）	614
大手前高松高等学校（2回）	127
香川県環境森林部みどり整備課	17
香川県看護協会	50
香川県教育センター（3回）	107
香川県警察本部（3回）	71
香川県交通安全協会（4回）	80
香川県柔道整復師会	40
香川県水泳協会	20
香川県地区小型船安全協会	66
香川県藤井高等学校	50
香川県理学療法士会	35
香川県立石田高等学校（2回）	140
香川県立香川西部養護学校	70
香川県立香川中央高等学校	30
香川県立香川中部養護学校	100
香川県立香川東部養護学校	70
香川県立香川丸亀養護学校	130
香川県立笠田高等学校（2回）	120
香川県立観音寺総合高等学校（2回）	265
香川県立琴平高等学校（2回）	244
香川県立坂出高等学校	53
香川県立坂出商業高等学校	198
香川県立三本松高等学校	35
香川県立斯道学園	30
香川県立志度高等学校（2回）	120
香川県立善通寺第一高等学校（3回）	240
香川県立善通寺養護学校	100
香川県立高瀬高等学校	180
香川県立高松北中学校・高等学校	90
香川県立高松工芸高等学校（3回）	220
香川県立高松高等学校	90
香川県立高松桜井高等学校（3回）	280
香川県立高松商業高等学校	40
香川県立高松東高等学校（4回）	300
香川県立高松南高等学校	50
香川県立高松養護学校	100
香川県立多度津高等学校（2回）	215
香川県立津田高等学校（2回）	130
香川県立丸亀高等学校（3回）	280
香川県立丸亀城西高等学校	30
香川県立三木高等学校	50
香川県立みどり園	20
香川県立盲学校	60
香川県立聾学校（3回）	71
香川誠陵中学校・高等学校（3回）	258
香川大学教育学部附属特別支援学校	28
香川鑄造株式会社	10
学童クラブ ゆうか	45
株式会社バル技研	41
株式会社村上製作所	20
川崎重工業株式会社船舶海洋カンパニー	38
観音寺市赤十字奉仕団大野原分団	20

対象・主催等	受講者数
観音寺市立大野原中学校（2回）	100
観音寺市立観音寺中学校（2回）	112
観音寺市立高室小学校PTA	60
観音寺市立中部中学校（2回）	167
観音寺市立豊浜中学校	50
観音寺警察署	9
木太南コミュニティセンター	20
健康保険組合連合会香川連合会	26
公益財団法人高松市スポーツ協会	10
香西グランドマンション	9
香西校区自主防災会	60
香西地区川向自治会	23
国立大学法人 香川大学	190
琴平警察署	6
坂出警察署・高速隊	16
坂出市川津地区社会福祉協議会	20
坂出市立東部中学校（2回）	108
さめき市長尾西東町西ノ丁自治会	20
さめき市立志度中学校（2回）	154
さめき市立長尾中学校（2回）	106
さめき警察署	15
三九会	30
四国管区警察学校（8回）	384
四国電力株式会社総合研修所	64
自動車警ら隊・交通機動隊	15
四変テック株式会社	39
障害者支援施設ウインドヒル	13
小豆警察署	12
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	100
世界救急法の日	100
善通寺市健康推進員連合会	27
高松北警察署	58
高松琴平電気鉄道株式会社（12回）	212
高松市教育委員会教育局生涯学習課生涯学習センター	50
高松市香西地区保健委員会	30
高松市赤十字奉仕団一宮分団	10
高松市赤十字奉仕団川岡分団	65
高松市赤十字奉仕団檀紙分団	80
高松市赤十字奉仕団花園分団	10
高松市赤十字奉仕団仏生山分団	12
高松市赤十字奉仕団古高松分団	22
高松市赤十字奉仕団松島分団	30
高松市赤十字奉仕団屋島分団	45
高松市役所子育て支援課	50
高松市立一宮小学校	40
高松市立植田小学校	11
高松市立太田中学校（2回）	240
高松市立太田南小学校（2回）	207
高松市立川島小学校	22
高松市立川添小学校	25
高松市立木太小学校	30
高松市立木太中学校（4回）	284
高松市立木太南小学校	40
高松市立協和中学校（2回）	207
高松市立香東中学校	45
高松市立香南小学校	20
高松市立香南中学校（2回）	82
高松市立塩江中学校	25
高松市立下笠居中学校（2回）	72
高松市立新番丁小学校	35
高松市立高松第一小学校・中学校	60
高松市立玉藻中学校	35

対象・主催等	受講者数
高松市立中央小学校（5回）	210
高松市立林小学校	70
高松市立東植田小学校	50
高松市立古高松小学校	35
高松市立古高松中学校	35
高松市立屋島小学校	25
高松市立屋島中学校	33
高松市立山田中学校	34
高松市立栗林小学校	60
高松赤十字病院（2回）	80
高松西警察署	18
高松東警察署	15
高松南警察署	39
多度津町防災訓練（4回）	200
多度津町立四箇小学校	6
多度津町立豊原小学校（2回）	90
デイサービス綾川	25
東讃里山ボランティアガイド（2回）	45
特定非営利活動法人どんぐりネットワーク	20
特別養護老人ホーム香色苑	32
特別養護老人ホームさんさん荘	30
特別養護老人ホーム百合荘	15
特別養護老人ホーム白山山荘	21
直島町赤十字奉仕団	30
直島町本村自治会	30
直島町立直島中学校（3回）	84
直島町立直島幼児学園	76
日本赤十字社香川県支部（14回）	545
日本赤十字社香川県支部三豊市地区	10
花園地区体育協会	30
東かがわ警察署	13
東かがわ市赤十字奉仕団小海分団	50

対象・主催等	受講者数
東かがわ市立大川中学校（2回）	127
東かがわ市立引田小学校・引田中学校	74
比地大地区自主防災会	50
仏生山国際交流会	100
防災ボランティア基礎研修会	35
防災とボランティアのつどい	60
本田技研工業株式会社主催イベント	100
前塩屋東部自治会	60
丸亀市教育委員会	30
丸亀市小学校教育研究会	40
丸亀市二軒茶屋地区まちづくり協議会設立準備会	20
丸亀市立飯山南小学校	200
丸亀養護学校親の会多度津支部	20
丸亀警察署（2回）	90
まんのう町赤十字奉仕団四条分団	35
まんのう町赤十字奉仕団高篠分団	40
まんのう町赤十字奉仕団仲南分団	40
まんのう町赤十字奉仕団吉野分団	60
三豊市立豊中中学校	305
三豊市立三野津中学校	73
三豊警察署	22
民家デイサービス 一合一笑 綾川	7
悠々講座（大野原中央公民館）	17
計 278 回	14,850



▶ 水上安全法

水の事故から人命を守るため、「泳ぎの基本」「水の事故防止」「溺者の救助」「一次救命処置と応急手当」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

◎救助員養成講習

対象・主催等	受講者数	修了者数
支部主催教室 7月コース（プール）	3	3
支部主催教室 11月コース（プール）	10	9
支部主催教室 津田の松原（海）	3	3
計 3 回	16	15

※香川県消防学校 消防学生（平成30年7月豪雨災害により中止）

◎資格継続研修

対象・主催等	受講者数	修了者数
支部主催教室（2回）	8	8
計 2 回	8	8

◎短期講習

対象・主催等	受講者数
香川大学教育学部附属特別支援学校	28
観音寺市立高室小学校PTA	43
日本赤十字社香川県支部（2回）	28
善通寺市立中央小学校	40
善通寺市立東部小学校（3回）	140
高松市立香南小学校	30
高松市立三溪小学校	89
高松市立下笠居小学校	55
高松市立東植田小学校	50
デイサービス綾川	25
丸亀市飯山南小学校（2回）	125
丸亀市立富熊小学校（3回）	117
三豊市立比地大小学校	27
レフコ高松店	12
高松市スポーツ振興事業団（4回）	37
計 24 回	846



▶ 健康生活支援講習

健康増進・介護予防などへの社会の関心が高まる中、社会のニーズに柔軟に対応しつつ、自立に向けた高齢者介護の知識・技術などを広く普及しています。この講習では、高齢者の介護の方法のほか、高齢期を迎える前からの健康管理、地域での高齢者支援などを内容としています。

また、災害時高齢者生活支援講習においては、被災した高齢者の避難所生活に焦点をあてて、不自由な生活から高齢者を守るために、誰もが知っておいていただきたい知識や支援技術についてご紹介しています。

◎支援員養成講習

対象・主催等	受講者数	養成者数
尽誠学園高等学校 衛生看護科2年生	27	27
支部主催教室（2回）	13	8
計3回	40	35

◎資格継続研修

対象・主催等	受講者数	修了者数
支部主催教室	1	1
計1回	1	1

◎短期講習

対象・主催等	受講者数
香川県立農業経営高等学校（6回）	48
香川大学教育学部附属特別支援学校	30
株式会社日協堂医療器	22
四国たばこ耕作組合（2回）	84
退職公務員連盟（2回）	34
高松市木太北部コミュニティセンター（2回）	140
高松市シルバー人材センター（2回）	200
高松市赤十字奉仕団古高松分団（2回）	60
多度津町地域包括支援センター	12
長尾西 東町西ノ丁自治会	13
日本赤十字社香川県支部（3回）	216
東かがわ市赤十字奉仕団（2回）	70
丸亀市栗熊コミュニティセンター（4回）	200
丸亀ボランティアサークル すみれ会	20
まんのう町赤十字奉仕団四条分団	35
まんのう町赤十字奉仕団高篠分団	40
まんのう町赤十字奉仕団仲南分団	40
計33回	1,264



▶ 幼児安全法

子どもを社会の財産として大切に育てるために、「子どもに起こりやすい事故の予防と手当」「家庭内での看病の方法」を中心として次のとおり講習会を実施しました。

◎支援員養成講習

対象・主催等	受講者数	養成者数
穴吹パティシエ福祉カレッジ	25	22
支部主催教室（2回）	28	22
計3回	53	44

◎資格継続研修

対象・主催等	受講者数	修了者数
支部主催教室	1	1
計1回	1	1



◎短期講習

対象・主催等	受講者数
綾歌郡保育研究会	56
いのちの応援舎（4回）	52
香川県教育センター	45
香川県こども家庭課	36
香川県立保健医療大学	30
香川県立盲学校	60
株式会社ニチイ学館	36
観音寺市愛育会	60
観音寺ファミリー・サポート・センター	3
虎岳保育園	27
子育てネットくすくす	24
子育てネットひまわり（2回）	30
こぶし今里保育園	20
坂出市赤十字奉仕団林田分団	60
さぬき市ファミリー・サポート・センター（2回）	13
さぬき市福祉事務所	10
社会福祉法人イエス団 神愛館（2回）	50
生活協同組合コープかがわ（2回）	16
高松市教育委員会（高松市立香西幼稚園）	50
高松市庵治こども園	20
たかまつファミリー・サポート・センター（6回）	76
特定非営利活動法人どんぐりネットワーク	20

対象・主催等	受講者数
直島町立直島幼児学園	14
中野保育所	20
西春日保育所 ピノキオ館	14
二番丁すこやか教室	20
二番丁幼稚園	8
日本赤十字社香川県支部（6回）	411
認定こども園サンシャインこどもの森	12
花ノ宮こども園	20
東かがわ市保健課健康づくりグループ	18
本田技研工業株式会社主催イベント	100
丸亀市東小川児童センター	20
丸亀市ファミリー・サポート・センター（2回）	17
まんのう町赤十字奉仕団仲南分団	40
まんのう町赤十字奉仕団吉野分団	60
みとよファミリー・サポート・センター（2回）	21
むれコミュニティー協議会	11
栗林子育てネットワークえるふぁみりい	16
わはは・ひろば香西（2回）	26
わはは・ひろば高松（2回）	24
わはは・ネット	100
丸亀市教育委員会	30
計 64 回	1,796



▶ 赤十字幼児安全法指導員養成講習会の実施

赤十字の理念と使命を理解し、十分な知識と技術をもった実践的な指導員を養成し、本県における赤十字幼児安全法の普及並びに指導体制の強化を図ることを目的に指導員養成講習会を実施しました。

- 日 時／平成30年11月10日（土）…………… 説明会・事前研修会
 平成30年12月15日（土）～16日（日）…………… 養成講習会
 12月22日（土）～24日（月・祝）…………… 養成講習会
 平成31年 2月23日（土）～24日（日）…………… 新任指導員研修会
- 場 所／日本赤十字社香川県支部 ボランティア室
- 養成人員／10人



6

赤十字奉仕団



赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道的な諸活動を、様々な領域で実践しようとする方々により結成されたボランティア組織です。この赤十字奉仕団は、市町の地域ごとに組織されている「地域奉仕団」、青年や学生で組織されている「青年奉仕団」、救急法等のボランティア指導員、アマチュア無線等特殊な技術をもった方々で組織されている「特殊奉仕団」によって構成されています。

これらの赤十字奉仕団は、災害時の救護活動、献血の推進活動、救急法等の講習普及活動、社会福祉活動など地域に根差した活動を県内各地で展開しています。

▶ 地域奉仕団

地域奉仕団は、赤十字の基盤となるボランティア組織として、赤十字事業の推進に欠くことのできない存在であり、各地域においてそれぞれの立場で奉仕活動を展開しています。

◎組織及び団員数 17団（8市9町）11,239人

区分	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
分団数	41	10	11	8	15	10	7	9	10	3	46	170分団
団員数	1,106	1,986	1,046	358	369	290	420	912	919	85	3,748	11,239人

◎主な活動内容

- ① 会員増強に関する活動
- ② 災害救護に関する活動
- ③ 救急法、健康生活支援講習等の講習普及に関する活動
- ④ 赤十字病院における活動
- ⑤ 献血推進に関する活動
- ⑥ 青少年赤十字の加盟促進、育成に関する活動
- ⑦ 社会福祉に関する活動
- ⑧ その他



◎研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月日	場所	参加者（対象）	参加人数
本社	赤十字奉仕団中央委員会	5月31日～6月1日	東京都・日赤本社	支部委員会 委員長	1
ブロック	中国・四国ブロック協議会	9月26日～27日	ルポール讃岐	支部委員会 委員長・副委員長	3
	中国・四国ブロック研修会（ボランティア・リーダー）	11月7日～8日	鳥取県	坂出市、小豆郡、仲多度郡	24
支部	赤十字奉仕団県支部委員会	5月23日	日赤香川県支部	支部委員	13
	赤十字奉仕団委員長会議	6月13日	香川県社会福祉総合センター	各市町委員長・副委員長、地区区分担当者	62
	世界救急法の日記念イベント	9月8日	香川県社会福祉総合センター	各地区奉仕団員	84
	赤十字奉仕団県支部委員会	9月13日	日赤香川県支部	支部委員	13
	赤十字奉仕団研修会（ボランティア・リーダー）	11月21日～22日	休暇村讃岐五色台	各地区・分区奉仕団員	33
	赤十字奉仕団研修会（基礎）	2月20日	香川県社会福祉総合センター	各市地区、町分区、各種赤十字奉仕団等	139

◎協議会の開催

●中国・四国赤十字奉仕団協議会

中国・四国各県の赤十字奉仕団の代表及び支部担当者が、奉仕団活動の充実と発展のための情報交換を行うとともに、今後の活動について協議しました。

- 日 時／平成30年9月26日（水）～9月27日（木）
- 場 所／ルポール讃岐
- 参加者／赤十字奉仕団中国・四国各県支部委員会委員長、担当職員 19人
- 協議内容／地域における高齢者支援や子育て支援、地域奉仕団としての意識付け、奉仕団同士の交流について、平成30年7月豪雨災害での奉仕団活動



◎研修会の開催

●赤十字奉仕団研修会（ボランティア・リーダー）

- 日 時／平成30年11月21日（水）～11月22日（木）
- 場 所／休暇村讃岐五色台
- 参 加 者／県内赤十字奉仕団中堅リーダー及び将来リーダーとなる者 34人
- 研修内容／赤十字と赤十字事業、災害時の取り組み、赤十字講習体験
各奉仕団の活動状況の情報交換、非常食の炊き出し



●赤十字奉仕団研修会（基礎）

- 日 時／平成31年2月20日（水） 10:00～15:00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階大会議室、1階コミュニティホール
- 参 加 者／各市町赤十字奉仕団員等 144名
- 研修内容／講義「赤十字の使命と活動」
- 講 演／「落語で終活」 講師：三遊亭楽生氏（三遊亭円楽氏の総領弟子）



●地区・分區別赤十字奉仕団研修会

赤十字奉仕団員としての知識を深め、奉仕団活動の一層の進展を図ることを目的に次のとおり研修会を実施しました。また、災害時に備え、地域の中で赤十字防災ボランティアへの理解を深めるとともに、防災活動の浸透を図る研修も実施しました。

- 〈研修内容〉 ●赤十字とボランティア ●赤十字と災害救護 ●赤十字防災ボランティア
●非常食の炊き出し ●応急手当等



◎モデル奉仕団の指定

明るく住みよい社会を築きあげていくために必要な活動を展開している赤十字奉仕団において、その活動をより充実させ活発化させていく方策として、下記の活動を重点に推進する奉仕団をモデル奉仕団として毎年3団を指定しています。

指定を受けた奉仕団が、効果的な活動の進め方を探求するとともに、他の奉仕団を啓発し、活動の充実強化に寄与することを目的としています。

指定年度	奉仕団名	活動内容
平成28年度	さぬき市赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動
平成29年度	高松市赤十字奉仕団 川岡分団	非常災害に対する地域防災活動
平成30年度	観音寺市赤十字奉仕団 大野原分団	非常災害に対する地域防災活動 会員増強に関する特色ある活動

- 指 定 期 間／3年間 ●指定奉仕団数／毎年3団以内
- 重点活動内容／①地域高齢者支援活動 ②児童の健全育成活動 ③非常災害に対する地域防災活動
④会員増強に関する特色ある活動 ⑤その他必要な活動

▶青年奉仕団

青年奉仕団は将来の赤十字活動の中心となるべき青年や学生によって組織され、ボランティア活動を通して赤十字思想の理解と実践に取り組んでいます。



◎組織及び団員数 9団 406人

団 体	香川県青年赤十字奉仕団
	さぬき福祉専門学校学生赤十字奉仕団
	香川短期大学学生赤十字奉仕団
	高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団
	四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
	四国学院大学学生赤十字奉仕団
	香川大学学生赤十字奉仕団
	穴吹学園学生赤十字奉仕団
	香川県立保健医療大学学生赤十字奉仕団
計9団	



◎主な活動内容

- ①献血キャンペーン活動の実施
- ②海外たすけあいキャンペーン活動
- ③支部実施行事（各種イベント等）への協力
- ④義援金等の募集活動、団員研修・交流
- ⑤救護訓練等への参加



◎中国・四国青年赤十字奉仕団研修会の開催

中国・四国各県支部青年奉仕団員の資質向上と相互の親睦を深めることを目的として、毎年各県の輪番制で開催している研修会を香川県で開催しました。

- 日 時／平成30年8月31日（金）～9月2日（日）
- 場 所／香川県青年センター
- 参加人員／30人
- 内 容／講義（赤十字、防災学習等）、ワークショップ、全体会等



◎研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月日	場所	参加人数
本 社	青年赤十字奉仕団全国協議会	4月21日～22日	東京都・日赤本社	1
ブロック	中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月2日～3日	広島県	2
	中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団研修会	8月31日～9月2日	香川県青年センター	30
支 部 ・ 協 議 会	青年赤十字奉仕団香川県支部連絡協議会総会	4月28日	支部ボランティア室	25
	赤十字フェスタ	4月29日	高松丸亀町老番街前ドーム広場	34
	献血キャンペーン@丸亀お城まつり	5月3日～4日	丸亀市保健福祉センター	5
	Enjoy Honda 2018	5月5日～6日	サンメッセ香川	3
	防災ボランティア実践研修会	6月10日	香川県青年センター	7
	坂出自動車学校イベント	6月10日	坂出自動車学校	10
	平成30年7月豪雨災害義援金街頭募金	7月29日	コトデン瓦町ビル、ゆめタウン高松	10
	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	8月4日～6日	香川県立五色台少年自然センター	9
	世界救急法の日記念イベント	9月8日	香川県社会総合福祉センター	1
	香川県総合防災訓練	10月28日	琴弾公園	11
	NHK海外たすけあいキャンペーン	12月1日	高松市内	18
	全国学生クリスマス献血キャンペーン	12月24日	献血ルーム「オリーブ」	12
	防災とボランティアのつどい	3月10日	さめきこどもの国	12



▶ 特殊奉仕団

◎香川県アマチュア無線赤十字奉仕団

アマチュア無線の特殊技能を持った人たちによって組織されているアマチュア無線奉仕団は、災害等の非常事態発生の際に連絡網を断たれた被災地の情報収集、伝達など通信の確保に協力するための訓練を実施しており、その活動状況は、次のとおりです。

- ①組織及び団員数／1団 29人
- ②主な活動内容／●県内無線電波の伝播テスト及び電波形式でのテキスト送受訓練
●非常通信協議会の非常通信訓練への参加 ●香川県総合防災訓練参加



◎香川県赤十字安全奉仕団

救急法等ボランティア指導員によって組織され、人道を基本理念とする赤十字精神に基づき、事故防止と安全思想の普及を図るため、各種講習会において主体的な指導にあたっています。その活動状況は、次のとおりです。

- ①組織及び団員数／1団 137人
- ②主な活動内容／●救急法等講習普及活動 ●支部実施行事（各種イベント等）への協力 ●団員研修・交流



●赤十字安全奉仕団研修会開催

- 日 時／平成30年12月8日（土）
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階第1中会議室
- 内 容／①講演「防災情報の利活用について」

高松地方気象台 気象防災情報調整官 家藤 敦章 氏

②防災コミュニケーションワークショップ、青少年赤十字防災教育教材「いえまですごろく」

救急法指導員、青少年赤十字指導者 櫻木 拓 氏

- 参加者／50人



◎香川県赤十字奉仕団“ほっと”

健康生活支援講習のリラクゼーション技術を勉強した人によって組織され、定期的には高齢者福祉施設入所者等にリラクゼーションのケアサービスを提供しています。

わずかな時間であっても、そばに付き添い、静かに話に耳を傾けスキップをすることで、相互の心身のやすらぎやストレスの緩和につながります。温かい両手と笑顔と共感の心で実践活動を行っています。

①組織及び団員数／1団 42人

②主な活動内容

- 施設へのケアサービス提供
(12回、参加ボランティア数154人)
- 団員研修会の開催
(1回、参加者26人)
- 平成30年7月豪雨災害
被災地支援活動(岡山県真備地区)6人
- 平成30年7月豪雨災害
被災地支援活動(広島県坂町仮設住宅)5人
- 団員の増強とケアサービスの普及、充実
- 支部実施行事(各種イベント等)への協力



◎香川県青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字加盟校を退職された指導者によって組織されている青少年赤十字賛助奉仕団は、加盟校に在籍中の経験を生かした青少年赤十字の普及、加盟促進への協力活動等を行っています。

①組織及び団員数／1団 93人

②主な活動内容

- 青少年赤十字の普及、加盟促進への協力
- 青少年赤十字加盟校への協力
- 香川県教育委員会への働きかけ
- 校長会・園長会等への働きかけ
- 地域赤十字奉仕団との連携



◎香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団

災害時に赤十字ボランティア活動を実施するためバイク愛好家により結成し活動しています。

大地震等の災害に備え、小回りの利くバイクの機動力を生かし、救援活動や情報収集をするため、訓練等を実施して緊急時に備えています。

①組織及び団員数／1団 23人

②主な活動内容

- 支部実施行事(各種イベント等)への協力
- 団員研修・交流



7

青少年赤十字



青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校（幼稚園・保育所）内に組織されています。

日本全国で保育所から高等学校まで約1万3千校、328万人余りのメンバーが加盟し、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」という3つの実践目標と、「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ活動しています。

県内の加盟状況等は、次のとおりです。

◎加盟状況

区分	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	49	155	152	71	41	9	477
メンバー数	4,717	13,053	37,728	22,026	16,632	1,013	95,169



◎加盟校（所・園）一覧表（※は、新規加盟校）

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
高松市立瀬戸内保育所	106	高松市立三谷保育所	112	坂出市立江尻保育所	60
高松市立扇町保育所	148	高松市立多肥保育所	141	坂出市立府中保育所	59
高松市立宮脇保育所	44	高松市立林保育所	151	坂出市立西部保育所	21
高松市立松島保育所	124	高松市立川島保育所	147	坂出市立南部保育所	120
高松市立福岡保育所	69	高松市立西植田保育所	37	坂出市立加茂保育所	69
高松市立桜町保育所	177	高松市立東植田保育所	28	育愛館	148
高松市立田村保育所	8	高松市立大野保育所	188	金花保育園	140
高松市立鶴尾保育所	49	高松市立浅野保育所	103	豊城福祉会坂出保育園	91
高松市立太田保育所	147	高松市立川東南保育所	24	林田保育園	110
高松市立木太保育所	148	高松市立国分寺北部保育所	129	みどり保育園	158
高松市立古高松保育所	180	高松市立国分寺南部保育所	96	愛集苑保育所	18
高松市立屋島保育所	137	高松市立牟礼保育所	109	さぬき市立長尾保育所	100
高松市立下笠居西部保育所	10	高松市立田井保育所	62	土庄町立北浦保育所	14
高松市立下笠居東部保育所	27	松福福祉会城東保育園	118	土庄町立大鐸保育所	10
高松市立香西保育所	188	こぶし花園保育園	110	土庄町立大部保育所	7
高松市立弦打保育所	156	坂出市立川津愛児園	87	計 49 所	4,717
高松市立鬼無保育所	152	坂出市立松山保育園	80		

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎	30	栗林学園栗林幼稚園	302	坂出市立松山幼稚園	22
高松市立前田幼稚園	21	二番丁学園二番丁幼稚園	145	ルンビニ幼稚園	67
高松市立川添幼稚園	39	亀阜学園亀阜幼稚園	144	坂出一高幼稚園	122
高松市立林幼稚園	100	高松学園高松幼稚園	212	善通寺市立中央幼稚園	98
高松市立三溪幼稚園	58	屋島教会学園屋島教会幼稚園	97	善通寺市立西部幼稚園	56
高松市立香西幼稚園	59	聖母学園高松聖母幼稚園	126	善通寺市立南部幼稚園	67
高松市立一宮幼稚園	47	聖母学園桜町聖母幼稚園	174	善通寺市立東部幼稚園	79
高松市立多肥幼稚園	79	相愛学園相愛幼稚園	253	善通寺市立与北幼稚園	4
高松市立川岡幼稚園	21	小山学園愛育幼稚園	60	善通寺市立竜川幼稚園	180
高松市立円座幼稚園	56	青空幼稚園	139	善通寺市立筆岡幼稚園	82
高松市立檜紙幼稚園	56	百華学園太田百華幼稚園	266	善通寺市立吉原幼稚園	63
高松市立弦打幼稚園	39	光華学園光華幼稚園	157	聖母学園善通寺聖母幼稚園	54
高松市立鬼無幼稚園	30	新田学園新田幼稚園	145	観音寺市立観音寺幼稚園	152
高松市下笠居こども園	82	らく楽寺井幼稚園	217	観音寺市立柞田幼稚園	75
高松市立木太幼稚園	99	国東学園くにとう幼稚園	346	観音寺市立豊田幼稚園	11
高松市立山田幼稚園	39	やしま学園やしま幼稚園	212	観音寺市立一ノ谷幼稚園	27
高松市立春日幼稚園	31	古高松学園つくし幼稚園	283	観音寺市立大野原幼稚園	242
高松市立木太北部幼稚園	57	まゆみ学園まゆみ幼稚園	104	観音寺市立豊浜幼稚園	116
高松市庵治こども園	107	認定こども園サンシャインこどもの森	86	聖母学園観音寺聖母幼稚園	100
高松市塩江こども園	42	花ノ宮こども園	92	さぬき市立津田幼稚園	39
高松市はらこども園	155	中野保育所	152	さぬき市立鶴羽幼稚園	9
高松市立栗山幼稚園	62	丸亀市立西幼稚園	66	さぬき市立さぬき南幼稚園	63
高松市立田井幼稚園	22	丸亀市立城北幼稚園	28	さぬき市立志度幼稚園	67
高松市立大町幼稚園	21	丸亀市立城神幼稚園	99	さぬき市立さぬき北幼稚園	29
高松市立大野幼稚園	44	丸亀市立城東幼稚園	85	さぬき市立寒川幼稚園	56
高松市立浅野幼稚園	36	丸亀市立城辰幼稚園	66	さぬき市立長尾幼稚園	61
高松市川東こども園	126	丸亀市立郡家幼稚園	164	さぬき市立造田幼稚園	32
高松市香南こども園	223	丸亀市立あやうたこども園	101	聖母学園長尾聖母幼稚園	39
高松市立国分寺北部幼稚園	105	丸亀市立飯山こども園	181	東かがわ市丹生こども園	107
高松市立国分寺南部幼稚園	111	聖母学園丸亀聖母幼稚園	104	三豊市立二ノ宮幼稚園	15
高松中央高等学校高松中央高校幼稚園	65	丸亀虎岳学園丸亀城南虎岳幼稚園	229	三豊市立比地二幼稚園	54
ときわ幼稚園	84	香川大学教育学部附属幼稚園	75	三豊市立上高瀬幼稚園	74
高松聖母被昇天学院マリア幼稚園	217	坂出市立坂出中央幼稚園	88	三豊市立勝間幼稚園	51
高松聖ヤコブ幼稚園	131	坂出市立林田幼稚園	34	三豊市立麻幼稚園	21
四国高松学園高松東幼稚園	123	坂出市立加茂幼稚園	19	三豊市立辻幼稚園	25
香川県百華学園勅使百華幼稚園	259	坂出市立府中幼稚園	8	三豊市立河内幼稚園	8
のぞみ幼稚園	108	坂出市立川津幼稚園	25	三豊市立大野幼稚園	30

学校名	メンバー
三豊市立吉津幼稚園	50
三豊市立下高瀬幼稚園	48
三豊市立大見幼稚園	43
三豊市立豊中幼稚園	278
三豊市立詫間幼稚園	93
三豊市立松崎幼稚園	20
三豊市立大浜幼稚園	4
三豊市立平石幼稚園	68
三豊市立曾保幼稚園	5
三豊市立財田幼稚園	54
土庄町立土庄幼稚園	30
土庄町立洲崎幼稚園	31
土庄町立大鐸幼稚園	17
土庄町立大部幼稚園	7
土庄町立北浦幼稚園	19

学校名	メンバー
土庄町立四海幼稚園	12
小豆島町立星城幼稚園	23
小豆島町立安田幼稚園	25
小豆島町立苗羽幼稚園	21
小豆島町立旭幼稚園	6
小豆島町立福田幼稚園	2
小豆島町立小豆島子どもセンター	111
※三木町立ししの子幼稚園	116
三木町立田中幼稚園	17
三木町立氷上幼稚園	76
三木町立白山幼稚園	31
三木学園おおば幼稚園	139
直島町立直島幼児学園	76
宇多津町立宇多津幼稚園	86
綾川町立立所幼稚園	12

学校名	メンバー
青山幼稚園	147
香川短期大学附属幼稚園	138
まんのう町立高篠こども園	58
まんのう町立四条こども園	82
まんのう町立満濃南こども園	189
まんのう町立長炭こども園	89
まんのう町立仲南こども園	77
まんのう町立琴南こども園	41
琴平町立南幼稚園	34
琴平町立北幼稚園	40
多度津町立四箇幼稚園	50
多度津町立白方幼稚園	12
多度津町立豊原幼稚園	74
多度津町立多度津幼稚園	37
計 155 所	13,053

学校名	メンバー
香川大学教育学部附属高松小学校	610
高松市立新番丁小学校	17
高松市立亀阜小学校	14
高松市立栗林小学校	22
高松市立高松第一小学校	640
高松市立鶴尾小学校	10
高松市立太田小学校	756
高松市立木太小学校	484
高松市立古高松小学校	554
高松市立屋島小学校	407
高松市立前田小学校	222
高松市立川添小学校	421
高松市立林小学校	140
高松市立三浜小学校	470
高松市立仏生山小学校	530
※高松市立香西小学校	514
高松市立一宮小学校	713
高松市立多肥小学校	25
高松市立川岡小学校	295
高松市立円座小学校	713
高松市立檀紙小学校	566
高松市立弦打小学校	522
高松市立鬼無小学校	8
※高松市立下笠居小学校	238
高松市立男木小学校	6
※高松市立川島小学校	480
高松市立十河小学校	100
高松市立東植田小学校	34
高松市立植田小学校	92
高松市立中央小学校	929
高松市立太田南小学校	1019
高松市立木太南小学校	211
高松市立古高松南小学校	689
高松市立屋島東小学校	35
高松市立屋島西小学校	412
高松市立木太北小学校	403
高松市立塩江小学校	82
高松市立庵治小学校	167
高松市立牟礼小学校	313
高松市立牟礼北小学校	419
高松市立牟礼南小学校	202
高松市立大野小学校	7
高松市立浅野小学校	18
高松市立川東小学校	16
高松市立香南小学校	6
高松市立国分寺北部小学校	16
高松市立国分寺南部小学校	226
丸亀市立城乾小学校	255
丸亀市立城坤小学校	621
丸亀市立城北小学校	8
丸亀市立城西小学校	489

学校名	メンバー
丸亀市立城南小学校	606
丸亀市立城東小学校	14
丸亀市立城辰小学校	352
丸亀市立本島小学校	9
丸亀市立郡家小学校	798
丸亀市立飯野小学校	317
丸亀市立垂水小学校	367
丸亀市立小手島小学校	1
丸亀市立富熊小学校	203
丸亀市立栗原小学校	128
丸亀市立岡田小学校	10
丸亀市立飯山北小学校	640
丸亀市立飯山南小学校	347
香川大学教育学部附属坂出小学校	414
坂出市立坂出小学校	555
坂出市立東部小学校	391
坂出市立金山小学校	26
坂出市立西庄小学校	51
坂出市立林田小学校	327
坂出市立加茂小学校	215
坂出市立府中中学校	129
坂出市立川津小学校	8
坂出市立松山小学校	187
坂出市立瀬居小学校	18
善通寺市立東部小学校	270
善通寺市立中央小学校	219
善通寺市立西部小学校	155
善通寺市立南部小学校	164
善通寺市立筆岡小学校	206
観音寺市立観音寺小学校	571
観音寺市立伊吹小学校	8
観音寺市立高室小学校	124
観音寺市立常磐小学校	407
観音寺市立豊田小学校	134
観音寺市立栗井小学校	72
観音寺市立柞田小学校	78
観音寺市立一ノ谷小学校	275
観音寺市立大野原小学校	544
観音寺市立豊浜小学校	347
さぬき市立津田小学校	208
さぬき市立さぬき南小学校	257
さぬき市立志度小学校	546
さぬき市立さぬき北小学校	8
さぬき市立神前小学校	94
さぬき市立石田小学校	190
さぬき市立長尾小学校	464
さぬき市立造田小学校	179
東かがわ市立引田小学校	231
東かがわ市立本町小学校	176
東かがわ市立白鳥小学校	19
東かがわ市立福栄小学校	42

学校名	メンバー
東かがわ市立大内小学校	402
三豊市立二ノ宮小学校	70
三豊市立比地小学校	150
※三豊市立上高瀬小学校	202
三豊市立勝間小学校	140
三豊市立麻小学校	149
三豊市立山本小学校	442
三豊市立吉津小学校	142
三豊市立下高瀬小学校	184
三豊市立大見小学校	44
三豊市立桑山小学校	114
三豊市立笠田小学校	120
三豊市立本山小学校	118
三豊市立上高野小学校	92
三豊市立比地大小学校	101
三豊市立詫間小学校	457
三豊市立松崎小学校	121
三豊市立大浜小学校	11
三豊市立仁尾小学校	238
三豊市立曾保小学校	13
土庄町立土庄小学校	524
土庄町立豊島小学校	24
小豆島町立星城小学校	121
小豆島町立安田小学校	142
小豆島町立苗羽小学校	6
小豆島町立池田小学校	165
三木町立平井小学校	573
三木町立田中小学校	97
三木町立氷上小学校	534
三木町立白山小学校	321
直島町立直島小学校	6
宇多津町立宇多津小学校	440
宇多津町立宇多津北小学校	617
綾川町立綾上小学校	6
綾川町立昭和小学校	6
綾川町立陶小学校	52
綾川町立滝宮小学校	346
綾川町立羽床小学校	4
まんのう町立琴南小学校	70
まんのう町立高篠小学校	194
まんのう町立四条小学校	223
まんのう町立満濃南小学校	206
まんのう町立長炭小学校	102
まんのう町立仲南小学校	197
※琴平町立琴平小学校	22
琴平町立榎井小学校	95
多度津町立四箇小学校	337
多度津町立白方小学校	5
多度津町立豊原小学校	465
多度津町立多度津小学校	271
計 152 所	37,728

学校名	メンバー
香川大学教育学部附属高松中学校	358
香川県立高松北中学校	341
高松市立桜町中学校	802
高松市立紫雲中学校	668
高松市立玉藻中学校	565
高松市立高松第一中学校	306
高松市立鶴尾中学校	10
高松市立屋島中学校	506
高松市立協和中学校	617

学校名	メンバー
高松市立龍雲中学校	16
高松市立勝賀中学校	681
高松市立一宮中学校	142
高松市立香東中学校	739
高松市立下笠居中学校	126
高松市立男木中学校	3
高松市立山田中学校	586
高松市立太田中学校	230
高松市立古高松中学校	552

学校名	メンバー
高松市立木太中学校	786
高松市立塩江中学校	68
高松市立庵治中学校	89
高松市立牟礼中学校	434
高松市立香川第一中学校	197
高松市立香南中学校	188
高松市立国分寺中学校	733
※丸亀市立東中学校	632
丸亀市立西中学校	794

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
※ 丸亀市立南中学校	739	観音寺市立豊浜中学校	7	土庄町立豊島中学校	8
丸亀市立本島中学校	6	さぬき市立さぬき南中学校	388	小豆島町立小豆島中学校	283
丸亀市立綾歌中学校	305	さぬき市立志度中学校	448	三木町立三木中学校	43
丸亀市立飯山中学校	487	さぬき市立長尾中学校	329	直島町立直島中学校	52
香川大学教育学部附属坂出中学校	360	東かがわ市立引田中学校	122	宇多津町立宇多津中学校	496
坂出市立坂出中学校	10	東かがわ市立白鳥中学校	229	※ 綾川町立綾上中学校	111
坂出市立東部中学校	21	東かがわ市立大川中学校	311	綾川町立綾南中学校	429
坂出市立白峰中学校	476	三豊市立高瀬中学校	406	まんのう町立満濃中学校	9
坂出市立瀬居中学校	17	三豊市立三野津中学校	290	琴平町立琴平中学校	179
坂出市立岩黒中学校	2	三豊市立豊中中学校	284	多度津町立多度津中学校	541
善通寺市立西中学校	306	三豊市立詫間中学校	301	大手前高松中学校	113
観音寺市立観音寺中学校	332	三豊市立仁尾中学校	160	香川誠陵中学校	194
観音寺市立中部中学校	465	三豊市立和光中学校	99	大手前丸亀中学校	322
観音寺市立伊吹中学校	7	三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校	325	香川県藤井中学校	291
観音寺市立大野原中学校	286	土庄町立土庄中学校	268	計 71 所	22,026

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
※ 香川県立小豆島中央高等学校	558	香川県立香川中央高等学校	46	高松市立高松第一高等学校	909
香川県立三本松高等学校	34	香川県立農業経営高等学校	341	藤井学園寒川高等学校	576
香川県立津田高等学校	386	香川県立坂出商業高等学校	524	高松中央高等学校	9
香川県立志度高等学校	378	香川県立坂出高等学校	790	英明高等学校	540
香川県立石田高等学校	362	香川県立坂出工業高等学校	422	大手前高松高等学校	561
香川県立三木高等学校	517	香川県立飯山高等学校	37	香川誠陵高等学校	342
香川県立高松北高等学校	49	香川県立丸亀高等学校	28	坂出第一高等学校	397
香川県立高松高等学校	321	香川県立丸亀城西高等学校	645	大手前丸亀高等学校	373
香川県立高松工芸高等学校	18	香川県立善通寺第一高等学校	672	香川県藤井高等学校	455
香川県立高松商業高等学校	941	香川県立琴平高等学校	607	尽誠学園高等学校	763
香川県立高松東高等学校	762	香川県立多度津高等学校	608	四国学院大学香川西高等学校	17
香川県立高松南高等学校	70	香川県立笠田高等学校	353	禅林学園高等学校	92
香川県立高松西高等学校	831	※ 香川県立高瀬高等学校	423	香川高等専門学校詫間キャンパス	1
香川県立高松桜井高等学校	838	香川県立観音寺総合高等学校	36	計 41 所	16,632

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
※ 香川県立盲学校	15	香川県立高松養護学校	108	香川大学教育学部附属特別支援学校	60
香川県立聾学校	39	香川県立香川丸亀養護学校	219	計 9 所	1,013
※ 香川県立香川東部養護学校	5	香川県立善通寺養護学校	123		
香川県立香川中部養護学校	343	香川県立香川西部養護学校	101		



◎研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	期間	場所	参加人数	参加者(対象)
本社	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	5月25日～27日	東京都・国立オリンピック記念センター	2	指導者
	全国指導者協議会総会・研修会	6月28日～29日	東京都・日赤本社	1	指導者協議会長
	全国賛助奉仕団協議会	7月5日～6日	東京都・日赤本社	1	賛助奉仕団委員長
	国際交流集会(隔年開催)	11月22日～25日	東京都・国立オリンピック記念センター他	1	高校生メンバー
	指導主事対象研究会	1月9日～10日	東京都・日赤本社	1	指導主事
ブロック	スタディー・センター	3月22日～26日	山梨県・山中湖村東照館	3	高校生メンバー
	中国・四国ブロック賛助奉仕団連絡協議会・研修会	10月11日～12日	山口県	3	中・四国賛助奉仕団員
支部協議会賛助	中国・四国ブロック指導者協議会	10月17日～18日	広島県	2	指導者協議会役員、支部職員
	香川県指導者協議会役員会	4月26日	日赤香川県支部	7	指導者協議会役員
	香川県賛助奉仕団役員会	4月26日	香川県社会福祉総合センター	5	賛助奉仕団役員
	赤十字フェスタ(世界赤十字デー周知キャンペーン)	4月29日	高松丸亀町老番前ドーム広場	64	青少年赤十字メンバー、指導者
	香川県賛助奉仕団総会	5月17日	日赤香川県支部	9	賛助奉仕団員
	香川県指導者研修会	6月21日	香川県社会福祉総合センター	38	指導者
	リーダーシップ・トレーニング・センター企画運営委員会	6月8日	日赤香川県支部	4	企画運営委員
	リーダーシップ・トレーニング・センター事前研修会	7月12日	日赤香川県支部	12	指導者
	リーダーシップ・トレーニング・センター	8月4日～6日	香川県立五色台少年自然センター	107	小・中・高メンバー、指導者
	香川県指導者協議会役員会	9月25日	日赤香川県支部	9	指導者協議会役員
	香川県賛助奉仕団役員会	9月25日	香川県社会福祉総合センター	7	賛助奉仕団役員
	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者研修会(反省会)	10月19日	日赤香川県支部	11	指導者
	研究発表会	10月25日	高松市立太田南小学校	900	指導者等
	香川県指導者協議会役員会	3月26日	日赤香川県支部	5	指導者協議会役員
	香川県賛助奉仕団役員会	3月26日	香川県社会福祉総合センター	8	賛助奉仕団役員

◎青少年赤十字指導者研修会の開催

青少年赤十字指導者をはじめとする参会者に、学校現場へ青少年赤十字を取り入れ、学校づくりや子どもの育成等に役立てていただくことを目的として開催することとしており、平成30年度においては、次のとおり開催しました。

- 日 時／平成30年6月21日（木） 14：00～16：00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階第2中会議室
- 講演内容／演題：「青少年赤十字防災教育プログラムの学校教育での取り入れ方」
講師：金関 太郎 氏
(青少年赤十字中央講習会 日本赤十字社スタッフ)
- 参 加 者／38人（青少年赤十字加盟校指導者等）



◎青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの開催

リーダーとなる児童・生徒の養成を目的として知識、技術、態度の面から、赤十字と青少年赤十字について集中的に学習をすすめました。

特に、“なすことをもって学ぶ” 集団生活の活動体験を通して、自主性を養い、学校や地域社会に役立つ青少年の育成を目指しました。

- 日 時／平成30年8月4日（土）～6日（月）
- 場 所／香川県立五色台少年自然センター
- 学習活動／①赤十字について（歴史、組織、事業、原則、標章等）
②青少年赤十字について（歴史、活動等）
③体験学習（健康安全プログラム等）
④ボランティア・サービスの実践
⑤グループ・ワーク学習（ワーク・ショップ）
- 参 加 者／109人（小・中・高メンバー、指導者、スタッフ）



▶ 青少年赤十字研究推進校の指定

青少年赤十字活動の充実強化を図るとともに、地域への理解促進を図り、青少年赤十字事業の振興を期するため、青少年赤十字研究推進校を指定し、研究を委嘱しました。



◎指定状況

指定年度	指定期間	研究主題	指定校名
平成29年度	平成29年度～30年度	主体的によりよい生き方を探求し、 これからの社会を生きる力を育む道德教育	高松市立 太田南小学校
平成30年度	平成30年度～令和元年度	心をそそえ 学びをつなぐ 子どもの育成 ～気づき 考え 実行する 豊原っ子～	多度津町立 豊原小学校

◎研究発表会の開催

- 日 時／平成30年10月25日（木） 13：45～16：25
- 開催日／高松市立太田南小学校
- 参加者／教育関係者、赤十字関係者、一般参加者等 約900人





高松赤十字病院は、明治40年6月1日に日本赤十字社香川支部病院として設立されて以来、医療法における公的医療機関として地域医療の中核を担うとともに、災害時には医療救護活動の重要な拠点として地域医療に貢献してきました。また、急性期・高度急性期型医療施設として、DPC（包括医療支払制度）への対応、地域がん診療連携拠点病院の指定、7対1の看護基準の取得、地域医療支援病院の承認、地域周産期母子医療センターの認定や手術支援ロボット「ダヴィンチ」、MRI 3テスラ、最新鋭320列CTの導入やその他高度医療機器の導入、電子カルテの更新、造血幹細胞・腎臓の移植医療に関する診療基盤の整備、TAVI（経カテーテル大動脈弁留置術）の認定等、診療機能の強化を行うとともに患者サービスの向上に努め、高度専門医療を提供する病院として質の高い医療の提供に努めています。



◎病床数

- 576床（一般病床／568床、結核病床／8床）

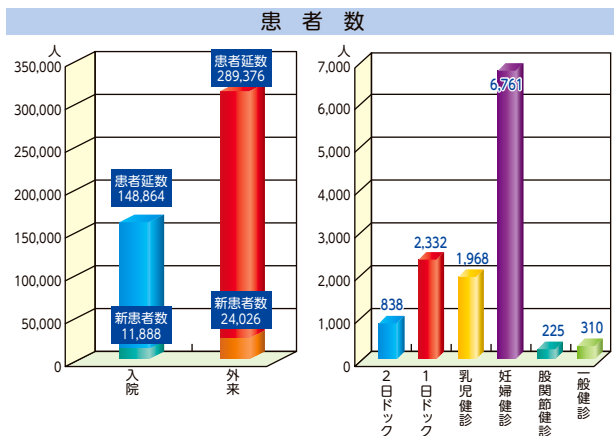
◎診療科目

- 血液内科 ●腎臓内科 ●内分泌・代謝内科 ●消化器内科 ●循環器内科 ●神経内科 ●呼吸器内科
- 小児科 ●消化器外科 ●胸部・乳腺外科 ●小児外科 ●脳神経外科 ●心臓血管外科 ●整形外科
- 皮膚科 ●泌尿器科 ●腎臓外科（臓器移植） ●産婦人科 ●眼科 ●耳鼻いんこう科 ●歯科口腔外科
- 精神科 ●リハビリテーション科 ●麻酔科 ●放射線科 ●病理診断科（26診療科）

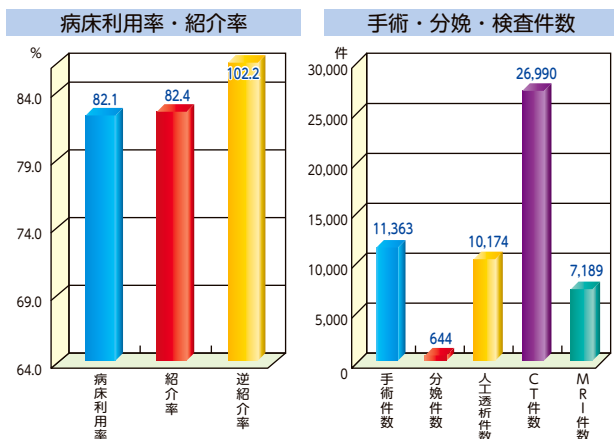
◎職員数（平成31年3月31日現在）

- 医師／177人 ●医療技師／172人
- 看護師・助産師／548人 ●事務職員／192人
- その他職員／68人

◎業務実績（平成30年度）



一日平均入院患者数	407.8人
一日平均外来患者数	1,190.8人
平均在院日数	12.4日



◎主な指定、施設基準

- 災害拠点病院（地域災害医療センター）
- 病院群輪番制第二次救急指定病院
- 臨床研修指定病院 ●地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院 ●産科医療補償制度加入機関
- 地域周産期母子医療センター
- 7対1入院基本料 ●総合入院体制加算2
- 医療安全対策加算1 ●感染防止対策加算1
- 特定集中治療室管理料2
- 新生児特定集中治療室管理料2
- 医師事務作業補助体制加算1 15対1
- 急性期看護補助体制加算25対1
- 無菌治療室管理加算1

◎その他認定取得

- 財日本医療機能評価機構認定施設
- ホスピレート（病院就労環境評価・認証）
- 卒後臨床研修評価機構認定施設
- 看護師の特定行為研修指定研修機関

◎医療の質の向上

①医師の育成と確保

- 初期、後期臨床研修の指導體制の充実
- 初期、後期研修医の確保
平成30年度 初期14名、後期3名
- 腫瘍内科外来の開設
- 医師事務支援体制の充実（医師の外来業務負担軽減）
平成31年3月31日現在 外来クラーク35名

②看護師の育成と確保

- 新人看護師、新人助産師及び看護師の教育体制の充実
平成30年度新人看護師35名（助産師1名を含む）
- 認定看護師、専門看護師など専門分野における高度な知識、技術を有する看護師の育成
平成31年3月31日現在 認定看護師25名
専門看護師 1名

- 特定行為研修了看護師の配置
平成31年3月31日現在 9名
- 病棟クラーク（看護業務の事務支援スタッフ）の拡充
平成31年3月31日現在 9名
- 診療報酬担当看護師の育成
平成31年3月31日現在 14名
- ③医療スタッフの育成と確保
 - 薬剤師によるチーム医療、各種指導体制の強化
 - 臨床検査技師による検査部門の充実と患者サービスの向上
 - 放射線科技師による放射線治療及び画像検査体制の充実
 - 作業療法士（OT）、理学療法士（PT）、言語療法士（ST）による急性期リハビリ体制の充実、土曜リハビリの充実、日曜リハビリの拡充
 - 臨床工学技士による手術、透析、心臓カテーテル支援の充実、医療機器の中央管理
 - 管理栄養士による栄養サポート、栄養指導体制の強化
 - 介護福祉士の重点配置
- ④チーム医療の推進
 - 多職種参加研修会、講演会等の開催
 - モーニングセミナー、ランチョンセミナーの継続的開催
 - チーム医療への事務職員の積極的な参画
- ⑤地域医療支援病院としての認定維持と病診・病病連携の強化
 - 顔の見える医療連携推進のために「高松赤十字病院地域連携フォーラム」の継続開催
 - 医療社会事業部のマンパワーの強化と機能拡充
 - 地域連携の前方・後方・双方向の支援体制強化
 - 逆紹介の推進（平成30年度逆紹介率102.2%）
 - 入退院センターの多職種による機能強化
 - 地域連携機関とのホットラインの運用強化（循環器内科、脳神経外科、泌尿器科）
 - 患者相談支援センターの拡充
 - 地域連携ニュース（医師向け）及び患者図書室広報誌「こもれび」（患者向け）の継続発行
 - 高松赤十字病院登録医制度の拡充、運用の推進
- ⑥地域がん診療連携拠点病院として地域の医療機関との連携強化
 - 地域連携バスの推進
 - セカンドオピニオン外来の推進 ● 緩和医療の推進
- ⑦救急医療の充実
 - 三次救急医療認定取得に向けての施設整備と実績の蓄積
 - 救急医療スタッフの拡充
 - 24時間診療体制の維持
 - ドクターカーの有効活用
 - 救急車の受入強化、応需率の向上
 - 救急隊との連携強化（合同勉強会開催）
 - 日直業務体制の強化
- ⑧周産期医療の強化
 - 地域周産期母子医療センターとしての運営強化
 - 助産師外来の拡充
- ⑨診療の質の充実
 - クリニカルインジケーターの活用
 - 診療録管理体制の強化
 - 検査部門における国際規格（ISO15189）取得に向けての準備 平成31年3月25～3月27日現地審査
- ⑩医療安全管理体制の強化
 - 医療事故の防止体制強化
 - 医療事故調査制度に対応した院内事故発生時のマニュアル整備
 - 医療安全の研修会参加
 - 研修、セミナー、ワークショップを活用した医療安全の推進
 - インシデント（事件）、アクシデント（事故）報告の徹底

- ⑪院内感染防止対策の強化
 - 新採用職員に対する院内感染対策の基本的知識の啓発継続
 - 講習会、研修会での職員に対する教育の徹底
- ⑫救護、救援体制の強化
 - 医療救護活動の体制強化
 - 平成30年7月豪雨災害に救護班、DMATを派遣
 - 災害対策マニュアルの再検討
 - 他の医療機関、企業や周辺地域との大規模災害時の応援体制づくり
 - 全職員の参加による大規模災害を想定した訓練、関係諸機関と連携した訓練の実施 平成31年1月17日（木）
- ⑬広報の充実
 - 病院情報の各医療機関、地域住民への発信拡充
 - 医師、看護師等の職員確保に向けたリクルート情報の発信、SNSの活用
 - 「診療のご案内」の各医療機関への配布
 - メールマガジン読者拡大と医療関係者へ向けての配信

◎患者サービスの向上

- ①女性外来の推進、拡充
 - 女性医師を中心としたプライバシーに配慮した診療体制（産婦人科（火）、泌尿器科（水）、胸部・乳腺外科（金））
- ②患者への情報提供の推進
 - ホームページ、広報誌「なんがでっきょんな」の充実
 - 患者図書室の有効活用
 - 院内情報配信システムの有効活用
 - 市民・県民に向けた健康維持の公開講座（健康講話十二講）
- ③接遇能力の向上
 - 職員の接遇研修の強化
 - 患者満足度調査の実施
 - ご意見箱の設置
- ④待ち時間の短縮
 - ホスピジョン（患者番号案内表示システム）、「まもなくコール」の活用
 - 予約時間の徹底、新患外来の推進
- ⑤人間ドックの充実
- ⑥病院へのアクセス改善
 - 日赤シャトルバス
- ⑦コンシェルジュの適正配置



◎診療基盤の整備

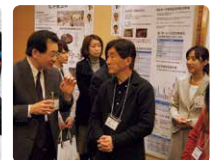
- ①新東館（仮称）実施設計、建築
- ②高度医療機器の更新並びに必要な医療機器の新規導入による診療機能の向上
- ③ハイブリッド手術室の充実した運用
- ④本館（本8、9、10病棟）と無菌病室の効果的運用
- ⑤増床後のHCU病室の効果的運用
- ⑥総合血管治療センターの開設
- ⑦呼吸器センターの開設
- ⑧消化器センターの開設
- ⑨腎臓病総合医療センターの開設
- ⑩生殖医療センターの開設



ダビンチXi



院内災害訓練

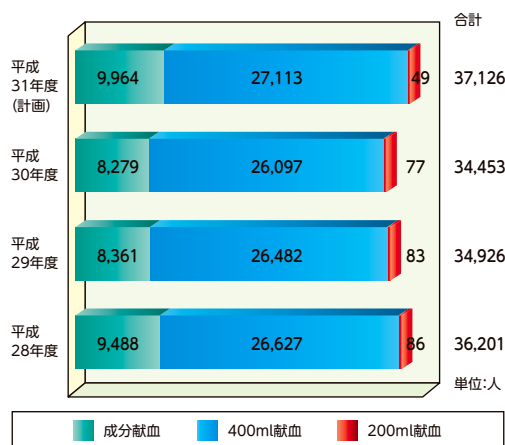


地域連携フォーラム

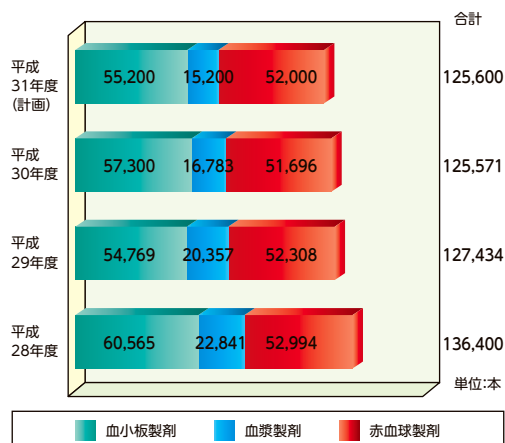


「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、行政の定める献血推進計画に基づき、献血受入計画を作成し、安全な血液製剤の安定供給に努めています。また、各献血協力団体との連携の強化はもとより、広報活動の充実に努め、さまざまなキャンペーンや広報を通じて県民の皆様に献血思想の普及、啓発を図っています。

◎県内献血者数



◎県内輸血用血液供給数 (200mL換算本数)



◎献血稼働実績

	献血バス	一台平均	献血ルーム	一日平均
平成31年度(計画)	319台	55.0人	364日	50.0人
平成30年度	312台	55.5人	354日	48.4人
平成29年度	319台	55.7人	359日	47.8人
平成28年度	319台	55.9人	362日	50.7人

■香川県赤十字血液センター

- 〒761-8031 高松市郷東町字新開587-1
- TEL 087-881-1500

■献血ルーム“オリーブ”

- 〒760-0029 高松市丸亀町13番地3
高松丸亀町参番街東館3F
- TEL 087-821-2300

◎愛の血液助け合い運動

日本赤十字社では、広く国民各層に献血思想の普及を図ることを目的として、7月の1ヵ月間「愛の血液助け合い運動」を展開しました。本県においても7月・8月の2ヵ月を「愛の血液助け合い運動」月間とし、平成30年7月8日には香川オリーブガイナーズの2選手に「一日血液センター所長」を委嘱し、街頭での献血啓発を行い献血推進を県民運動として盛り上げました。また、より一層の推進を図るため平成30年7月30日、香川県庁において香川県献血運動推進大会を開催しました。

◎全国学生クリスマス献血キャンペーン

学生献血ボランティアが主催し、学生を中心に献血の輪を拡大することを目的に昭和63年から実施され、アイデアを凝らしたイベントを平成30年12月21日から25日にかけて実施しました。

◎はたちの献血キャンペーン

冬季における輸血用血液の安定確保を図るため、平成31年1月1日から2月28日までの2ヵ月間、成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方を中心にキャンペーンを実施しました。

◎若年層への普及啓発

少子高齢化による献血者減少に対応するため、将来の献血を担う若年層を対象に献血について正しい知識の習得や、助け合いの精神を育成すること等を目的とした「献血出前講座」及び「小学生親子血液センター見学教室」を実施し、若年層への献血に関する知識の普及啓発活動を行いました。

◎複数回献血者の確保

安全な血液を安定的に確保するため、複数回献血登録者（年間複数回献血者）を募集しました。複数回献血登録者にはメールにより、イベント情報等のお知らせや輸血用血液が不足しがちな時期に献血依頼を発信しました。

◎低ヘモグロビン血者等に対する健康相談事業

低ヘモグロビン血で献血ができなかった方に栄養士が食事・生活面について指導し、再度献血にご協力いただくために栄養相談を実施しました。また、他の理由により献血できなかった方にも、健康維持・促進を図り献血への協力を得るために健康相談を実施しました。

◎献血協賛企業活動の推進

献血活動への理解と協力並びに社会貢献活動の象徴として作成したロゴマーク「献血サポーター」を、献血協力企業及び団体に活用してもらうことにより、献血活動を広く一般社会に周知するとともに、企業・団体が行なう献血活動の普及・拡大を推進しました。

◎各種媒体による広報

献血へのより一層の推進を図るため、献血ルーム「オリーブ」を中心に、FMラジオ、地元タウン情報誌、ホームページ等の各種情報媒体を活用した広報を実施しました。

10 赤十字思想の普及



社業の進展を図るためには、多くの方々に赤十字の趣旨と活動についての理解と認識を深めていただくことが肝要です。

そのために県内各地で行った救急法等の講習会をはじめ、諸会合等あらゆる機会をとらえて広報活動に努めました。

また、テレビ、ラジオ、新聞などの報道機関や市町広報の協力を得て、赤十字会員増強運動月間、義援金の受付、献血キャンペーン、救急法等講習会のPRを実施しました。

▶ 赤十字思想の普及

◎ 「赤十字フェスタ2018」の開催

5月8日の世界赤十字デーを中心に、広く県民に赤十字を理解してもらうことを目的に、「赤十字フェスタ」を開催することとしており、平成30年度においては、次のとおり赤十字思想の普及啓発キャンペーンを実施しました。

- 主催／日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センター
- 日時／平成30年4月29日（日） 11：00～15：00
- 場所／高松丸亀町老番街前ドーム広場
- 内容／
 - ・健康相談・体力測定コーナー：握力・血圧・体脂肪測定
 - ・献血コーナー：献血ルーム「オリーブ」にて献血の呼び掛け
 - ・講習体験コーナー：災害時に役立つ救急法、ロープワーク等体験
 - ・リラクゼーションコーナー
 - ・キャンペーンコーナー
 - ・熊本地震救護活動等の写真展示
 - ・救護車両展示
 - ・子ども用救護服試着体験、記念撮影
 - ・香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団のバイク展示・活動紹介
- 参加協力／二番丁幼稚園、高松市立勝賀中学校、香川県立高松南高等学校、尽誠学園高等学校
- 参加者／赤十字ボランティア等 146人
一般来場者 約2,900人



なお、当日の青少年赤十字メンバーによる募金は78,791円となりました。これらは全額、国内外で苦しむ人々の支援を続けるために、赤十字の活動資金として有効に活用させていただきました。



◎ 「世界救急法の日 (World First Aid Day)」 記念イベントの開催

9月の第2土曜日は、国際赤十字・赤新月社連盟が統一キャンペーンとして定めた「World First Aid Day」(世界救急法の日)であることから、平成30年度においては、次のとおり記念イベントを実施し、高松赤十字病院「県民公開講座」を開催するとともに、参加者にAEDの操作体験を含めた一次救命処置の重要性について認識を深めていただく機会を提供しました。

- 日 時／平成30年9月8日(土) 9:30~11:50
- 主 催／日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階大会議室等
- 内 容／・高松赤十字病院「県民公開講座」
 演題:「アトピー性皮膚炎について」 講師:皮膚科副部長 濱田 利久氏
 ・救急法の実技体験、AEDの操作体験、乳幼児の心肺蘇生
 災害時に役立つ代用品紹介やリラクゼーション体験等
- 来場者等／133人



◎ 「赤十字なんがでつきょん?セミナー」の実施

赤十字の施設見学や講習会等で、実際に「見て・聞いて・触れて・感じて・納得して」いただくことにより、赤十字事業への理解と知識を深めていただくことを目的に実施することとしており、平成30年度においては、次のとおり実施しました。

体験内容

- 赤十字について
- 非常食の炊き出し
- 防災セミナー
- 香川県支部の災害救護装備や救援物資備蓄倉庫見学

月 日	地区・分区	参加者	人数
12月21日(金)	小豆島町	奉仕団員	39
1月17日(木)	高松市(川添)	奉仕団員、婦人会	20
2月13日(水)	高松市(弦打)	自治会、自主防災、奉仕団員、保健委員会	24
3月11日(月)	直島町	奉仕団員	31
合計 4回		合計 114人	



◎ 「Enjoy Honda 2018 サンメッセ香川」への参加

本田技研工業株式会社は、これまで社会貢献活動を通じて赤十字事業と協働の実績があり、平成30年5月5日(土)~6日(日)にサンメッセ香川会場で開かれたEnjoy Honda 2018では、「もっとクロス! 赤十字体験ブース」として参加しました。

HONDA会員のみならずイベントに集まった皆様に、赤十字のことをもっと知ってほしい、もっと身近に感じてほしいという思いを込め、ブースを2日間展開しました。

また、イベントの期間、設置した募金箱に総額21,058円の温かい気持ちが寄せられました。国内や世界の各地で苦しんでいる人々への支援を続けるため、赤十字活動資金として有効に活用させていただきます。



- 日 時／平成30年5月5日(土)~6日(日) 9:00~17:00
- 場 所／サンメッセ香川
- 内 容／・赤十字が行う医療や災害救護活動の紹介
 ・子ども用救護服試着体験、記念撮影
 ・香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団のバイク展示・活動紹介
 ・青年赤十字奉仕団によるスーパーボールすくい
 ・AED体験コーナー
- 来場者等／延べ 約1,000名、参加協力者9人



◎平成30年度香川県赤十字有功会総会の開催

有功会は、赤十字を理解し、赤十字の活動資金である会費を拠出いただき日本赤十字社有功章等を受章された方々により赤十字の有力な支援団体として赤十字思想の普及と事業の推進等を図るため結成された組織です。香川県赤十字有功会は平成16年に結成されました。

平成30年度総会は7月31日（火）に開催され、会員並びに赤十字関係者総勢81人が出席し、赤十字活動の支援、赤十字精神の普及・啓発を中心とした事業計画等が承認されました。また、総会の議事に先立ち、平成29年度に高額の活動資金の寄託がありました方々に浜田恵造支部長から有功章等の表彰伝達が行われました。

- 会員数／個人 49人 法人 91社
- 総会日時／平成30年7月31日（火）
- 場所／リーガホテルゼスト高松
 - ・参加者81人
 - ・社長感謝状：個人 1人 法人 1社
 - ・金色有功章：個人 2人 法人 1社
 - ・銀色有功章：個人 5人 法人 29社



◎県外研修の実施

かつて高松赤十字病院で勤務されていた小笠原望先生を訪ね、四万十川くだりの屋形船で座談会を行いました。

- 視察日時／平成30年10月19日（金）
- 視察地／高知県四万十川くだり（観光遊覧船）他
- 参加者／会員他 34人



評議員会は、会員（法人が会員の場合は、その法人を代表する役員）の中から選出された評議員をもって組織されます。評議員会は、支部の重要な業務について審議するほか、支部長の諮問に答えます。

平成30年度は、平成30年6月8日（金）、平成31年2月4日（月）の2回開催され、香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センターの平成29年度事業報告、決算、2019年度事業計画、予算等が承認されました。

◎日本赤十字社香川県支部役員名簿

（平成31年3月31日現在）

職名	氏名	地区別	職名	氏名	地区別
支部長	浜田 恵造		評議員	福岡由紀子	丸亀市地区
副支部長	天雲 俊夫		//	鈴木 勝榮	//
監査委員	新佐 耕二		//	松浦 佳子	坂出市地区
//	長嶋 正信		//	高畑 光宏	善通寺市地区
//	角田 富雄		//	挽田 公孝	観音寺市地区
評議員	石田 雄士	高松市地区	//	藤井 邦子	さぬき市地区
//	大野 敏子	//	//	六車ひろみ	東かがわ市地区
//	中村 絹代	//	//	植岡 澤江	三豊市地区
//	山本フジ子	//	//	三枝 邦彦	小豆地区
//	稲毛 和子	//	//	伊藤 良春	東讃地区
//	林 茂子	//	//	谷川 俊博	中讃地区
//	橘 順子	//	//	丸尾 幸雄	//
//	平田フサ子	//	//	香川 亮平	支部長選出
//	藤澤津多子	//	//	藤目 真皓	//
//	田中 克幸	//	//	岩井 秀樹	//
//	岩崎 正朔	丸亀市地区	//	近藤 彰介	//



※評議員任期
平成31年2月14日～令和4年2月13日



◎平成30年度一般会計（香川県支部）歳入・歳出決算概要

科目	決算額(円)	構成比(%)	科目	決算額(円)	構成比(%)
社資収入	186,051,300	70.8	災害救護事業費	22,051,104	10.9
一般社資収入	163,909,465		救護看護師養成費	4,320,000	2.1
・会費収入	118,565,922		救急法・健康生活支援講習等講習普及費	27,953,853	13.8
・寄付金等収入	43,235,543		奉仕団活動費	2,623,975	1.3
・指定事業社資収入	2,108,000		青少年赤十字活動費	3,746,061	1.8
法人社資収入	22,141,835		地域（市町）における赤十字活動費	19,742,489	9.7
・その他社資収入	22,141,835		赤十字運動普及・会員増強費	15,008,852	7.4
本社からの事業交付金	6,954,013	2.6	医療施設基盤整備交付金	1,050,000	0.5
事業準備積立金繰入金収入	993,196	0.4	血液事業基盤整備交付金	41,632,835	20.6
資産収入（香川県への土地貸付け等）	5,825,651	2.2	国際救護活動費及び本社事業費	28,492,691	14.1
救急法・健康生活支援講習等講習教本代等収入	6,833,603	2.6	資産管理費	3,868,214	1.9
前年度繰越金（年度当初事業資金）	56,065,116	21.3	事業管理運営費	31,443,666	15.5
歳入合計	262,722,879	100.0	歳出合計	202,489,940	100.0

歳入歳出差引（翌年度当初事業資金） 60,232,939円

Mission statement



日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。



 **日本赤十字社** 香川県支部
Japanese Red Cross Society

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番35号
香川県社会福祉総合センター内
TEL 087-861-4618 FAX 087-862-7010
E-mail : nisseki@kagawa.jrc.or.jp
ホームページ : <http://www.jrckgw.com>

日本赤十字社香川県支部

検索